

令和2年度 第3回運営委員会議事録

- 日時：令和2年6月17日（水）14:00～16:00
- 手法：Skype 音声会議
- 参加：鈴木勝行、宮崎弘子、木内勝司、佐藤英人、廣川千恵子、山本実穂
オブザーバー参加：山本悦男
- 議長：鈴木勝行
- 書記：山本実穂
- 資料：運営会議議題、魚捕り用チラシ、浅間堰仮設魚道の写真

■議題

1. 2020年度の遡上環境改善作業について
 - 1) 名細(なぐわし)第一土地改良区の詳細を得た。期間は6月末まで。
 - 2) 浅間堰に入る川越橋上流の鍵は上戸運動公園の管理事務所から借りて来た。期間は11月まで。
 - 3) 浅間堰の堰板38本を5月15日に現地に搬送した。(山本・鈴木) 6月下旬に堰板回収予定。
現地で土嚢10袋を作成し、堰堤脇に置いてきた。5月30日に金澤氏が設置。
 - 4) 菅間堰の堰板は、増水が続き未設置のまま。
2. 標識放流調査について
 - 1) 5月25日に情報提供要請看板を4本と1枚作成、設置作業。(浅井・鈴木)
 - 2) 入間漁協の鑑札3枚(金澤氏立替え)、埼玉西部漁協の鑑札5枚と地曳網漁の鑑札を購入(鈴木)。
武蔵漁協鑑札を購入済み(金澤氏2枚、山本氏2枚、立替え)。武蔵漁協解禁日は7月1日。
 - 3) 6月1日の入間川での解禁日に友釣りでの調査を実施。釣果はなかった。
3. 2020年度の一斉水質調査について
以下の5団体から調査結果データの報告があった。
もりんど、高麗川ふるさとの会、市野川水系 in 滑川町、西川裕美、与野・水と緑の会
感染症予防対策の関係で会場の確保が難しい為、7月に実施予定の団体もある。
4. 魚捕りイベント開催について
 - ・コロナ禍での実施について[サイサン環境保全基金]に打診してから再検討する。
 - ・地曳網を行うとしたら参加は最低必要総数25人までとする。(スタッフと関係者のみ)
 - ・公募はしない = チラシは配布しない
 - ・飲食は中止(飲料は各自持参、かき氷・調理魚等の提供はしない)、捕れた魚は川へ返す等、感染症予防対策を十分にとる。
 - ・地曳網以外の方法として投網やガサガサなどによる調査という方法もある。
 - ・マスク着用してまで実施する必要があるのかも含め、総合的に安全な実施方法を検討。
5. その他
 - ・総会議案書と貸借対照表をホームページへ掲載予定。
 - ・今回の会議で音声不良の為、LINEなど新たな会議手法を検討する。

◆次回 令和2年度 第4回運営会議

日時：2020年7月13日(月)14:00～、音声会議

以上